

畜

産

Mini

Letter



飼料作物共通

01

■ 発行：渡島農業改良普及センター（本所） | 【電話】 0138-77-8242

今号

- 基本チェック
- 生産者の事例
- トレンド情報
- その他

地域の畜産農家・関係機関・普及センターが技術情報を通して結ばれるよう、2016年4月に誕生！
『基本チェック』、『生産者の事例』、『トレンド情報』の3ジャンルを中心にお届けします。

手遅れとしないために「アワヨトウ」を事前に警戒

サマリー

- ・アワヨトウ（蛾）は、6月中旬頃と7月末～8月中旬頃に飛来し、その幼虫はイネ科植物を暴食する。
- ・多発生時の幼虫は、体色が黒っぽくなる。（幼虫の発見が遅れ）大きな幼虫になると防除効果が劣る。
- ・牧草では、5月下旬～6月中旬頃に収穫を終えた再生草（2番草）、新播草地で被害が拡大しやすい。

ジェット気流に乗ってやってくる

- ・中国大陸から長距離移動し、ときに日本海側を中心とした広い範囲で、大量の成虫が飛来します。
- ・毎年、飛来するとは限らないため、当地区の畜産現場ではネキリムシ等と混同され、生態が十分知られていません。
- ・幼虫が小さいうちは食害量が少なく見過ごされ、1番草収穫等の繁忙な時期とも重なります。発見時には老齢幼虫になっていて（防除が）“手遅れ”となることが多いです。事前の警戒と早期防除で、被害を最小限に抑えましょう。

2番草の再生時期／発生「多」
(MO地区:2017年7月6日)



多発性時
(黒っぽい)



参考:ヤガ類
(ネキリムシ)



姿と食害部分が違います

【近年の発生状況】

2017年、管内ほぼ全域で確認(普及センター調べ)

- 牧草、飼料用とうもろこし
- 小麦、スイートコーン、水田畦畔、雑草地 等

【発生基準】(牧草)

m ² 当たり	少: 1~10匹
	中: 11~25匹
	多: 26~50匹
	甚: 51匹以上

アワヨトウって何者？

* 20℃

卵 5~6日

幼虫 約30日ほど

蛹 15日内外



イネ科作物の
食害状況

原図:中島(檜山農改檜山北部支所)

● 発生する時期 (裏面参照)

- ・成虫（蛾）は、イネ科植物の枯葉の隙間を好んで産卵。
- ・飛来時期は、6月中旬頃と7月末～8月中旬頃の年2回。

● 幼虫の生態

- ・イネ科植物以外は、ほとんど食べない。昼間は株元や葉の裏に潜んでいるが、多発生時には昼間でも活動し、エサを求めて一斉に移動する。
- ・老齢幼虫は体長35~40ミリ。頭部は茶色、黒い鮮明な「八」の字の模様がある。
- ・体色は淡橙褐色であるが、多発生しているほ場では、黒っぽい。

草地での発生リスクと対処

被害が大きくなりやすい草地

- ★ 5月下旬～6月中旬頃に収穫を終えた再生草（2番草）
- ★ 収穫を一度も行っていない、新播草地（当年春播き）
- ★ 高い山の麓（例：駒ヶ岳周辺）、山間部

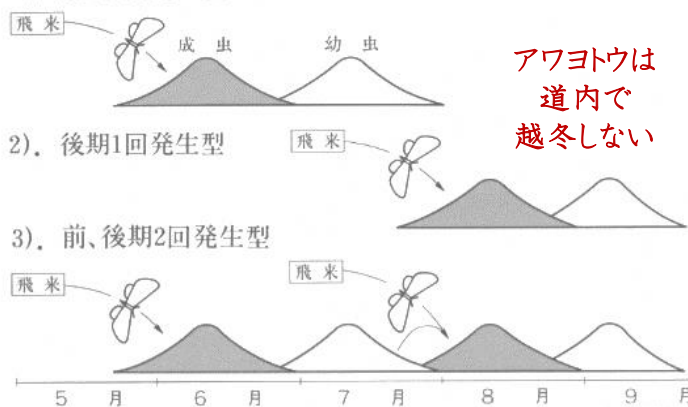
対処例と留意点

★ 収穫すると個体数は減少する

※チモシーを早刈りすると（短いうち）
植生悪化の恐れがあるため
「スミチオン乳剤」による防除を推奨

★ 幼虫が成長し、**大きくなるほど**
防除効果が劣るため、若齢のうちに散布（処理方法は、お問い合わせください）

1), 前期1回発生型



北海道におけるアワヨトウの発生型（原図：奥山七郎 引用）

3): 道内で2回目に発生する成虫は、1回目の飛来成虫が産卵したものと、他から新たに飛来してきたものがある



株元に10匹以上

飼料用とうもろこし畑の対処事例（2017年:普及センターへの問い合わせ）

農家A

出芽したばかりでやられているけど、播き直し必要な？
もう7月だし、今からじゃ収穫が間に合わなくなるよ…

3葉期くらいまでだったら、種子が持っている養分で育つから回復してくると思いますよ！ すぐに防除を検討を…



農家B

除草剤も終わってないんだけど、同時には無理だよ…

今は生育旺盛だし、発生量少ないなら除草剤優先して！



- 1: 6月播種の遅播きの作型で、出芽間もない頃に被害（撮影: 7/6）
- 2: 直ちに防除を行い、生育が回復（撮影: 4日経過 7/10）
- 3: 欠株が2割ほど発生したが、その後残った株は順調に生育（撮影: 6～9葉期 8/1）



4: 少発生のため殺虫剤散布を見送る（撮影: 7/6）
とうもろこしのその後の生育にとって、除草剤散布が遅れた方が影響が大きいと判断

発生情報と防除について

北海道病害虫防除所ホームページ「病害虫速報」
<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/index.html>

- ・最新の発生情報は、防除所ホームページ（上記）に掲載されますので、参考にしてください。
- ・幼虫の大きさに関わらず、黒っぽい幼虫を見つけた時点で、直ちに防除しましょう。ただし、飼料作物では、アワヨトウを対象とした登録薬剤が限定されますので、お問い合わせください。

成虫
翅長20ミリ前後



【出展／参考文献】

- ・「アワヨトウの見分け方」/ 2017.7.3 農業本部技術普及室
- ・「北海道病害虫防除提要」/ （一社）北海道植物防疫協会
- ・「病害虫の診断と予察 害虫編」/ 北海道病害虫防除所
- ・道南農業試験場 生産環境グループのレクチャー/ 2018.5

その他

- 当地区で確認された場合は、当センターFAX情報「グリーンタイム」を緊急発行し、お知らせします。
- 飼料用とうもろこしでは、発生の有無に関わらず、対応・処理方法について、お問い合わせください。
- 麦類、スイートコーン畑、水田と隣接している草地は、特に気をつけて観察するようにしましょう。

○詳しくは、渡島農業改良普及センター本所／畜産担当まで、お問い合わせください | 【電話】 0138-77-8242

渡島農業改良普及センター ホームページに掲載中

ダウンロードはここから(PDFファイル)

<http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/tec/tikusan.htm>

渡島 営農技術情報

検索